

菅原直樹(「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰)

老いと演劇のワークショップ

2022. **2/11** **祝** **14:00開演**
金 (13:30開場)

会場 マルホンまきあーとテラス 小ホール
(石巻市複合文化施設 石巻市開成1-8)

参加費 **無料**
定員 ワークショップ参加の方30名、
見学のみの方50名
※参加にはお申込みが必要です。

申込方法

マルホンまきあーとテラスへお電話いただくか、
直接窓口にてお申込みください。

受付期間

12月15日(水)9:00から開始します。
定員に達しましたら受付を終了します。

お申込み・お問合せ

マルホンまきあーとテラス Tel. **0225-98-5630**

老いと演劇のワークショップ

1. 老いと遊び

老いを受け入れるヒントは遊びにある!?

身体を使った遊びは演劇の原点。「できる」「できない」にこだわらず、「できない」ことすら楽しむ「遊び」を体験しましょう。

2. 認知症と演技

認知症の人の言動を正すのではなく、演技で自然に受け止めよう!

イエスアンドゲームをやってみよう!...参加者に「介護者」役と「認知症の人」役を交互に演じてもらい、認知症の人の言動を受け入れるコミュニケーションを体験してもらいます。

3. 老いを演じる

介護職員はお年寄りの人生を紐解き、個性を引き出す演出家!

参加者のエピソードをもとに認知症になった「わたし」とその家族や介護者が登場する介護現場のワンシーンを創作します。演劇未経験者でも簡単に芝居づくりが楽しめます。



菅原直樹 photo:草加和輝

菅原直樹プロフィール

1983年生まれ。劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。小劇場を中心に俳優として出演する傍ら、2010年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。12年、東日本大震災を機に岡山県に移住。14年「老いと演劇」OiBokkeShiを岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。公立劇場、国際共同制作など、劇団外でのプロジェクト、招聘公演も多数。平成30年(第69回)度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)受賞。

「老い・ボケ・死」をテーマとした劇団。

俳優で介護福祉士の菅原直樹さんを中心に、2014年に岡山県和気町にて設立。看板俳優は認知症の妻の介護をしながら俳優活動を行っている岡田忠雄さん(おかじい・95歳)。

「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施。超高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチするその活動は、演劇、介護のジャンルを越え、近年多方面から注目を集めています。

<http://oibokkeshi.net/>

OiBokkeShi
(オイボッケシ)
とは?



岡田忠雄 photo:hi foo farm

マルホン



まきあーとテラス

マルホンまきあーとテラス (石巻市複合文化施設)

〒986-0032 宮城県石巻市開成1-8

つここの友の会

メールマガジン会員募集

マルホンまきあーとテラスの
公演情報をお届けします
こちらから登録できます▶

<https://makiart.jp>



どんな
こと
やるの?

マルホンまきあーとテラス 一般参加による 「えんげき」制作プロジェクト

マルホンまきあーとテラスでは、
2022~23年に一般参加型事業
としての演劇公演の開催を計画
中です。OiBokkeShiのオリジナル
作品から、「石巻バージョン」を
地域近隣の皆さんと創り上げて
いきたいと考えています。



新型コロナウイルス 感染症拡大防止のとりくみ

ご来場の皆様・出演者・公演スタッフの安全と
安心の確保に努めてまいります。

会場では座席間隔をあけてお座りいただき、マス
クの着用・手指の消毒・検温等、施設の感染対策
にご協力いただきますようお願いいたします。



お問合せ **TEL. 0225-98-5630** FAX 0225-98-5640

HP <https://makiart.jp> E-mail info@makiart.jp